

# TOPICS

## いわて花巻空港の進入灯

花巻空港事務所

盛岡方面から国道4号を南下し、もうすぐ空港が見えてくるころ、左手にオレンジ色のT字型の構造物が何基も並んでいるのにお気づきでしょうか。

これは、花巻空港の進入灯(ALS: Approach Lighting System)です。滑走路の端から30m間隔で30基が設置されており、進入してくる航空機に滑走路への最終進路を示すものです。

今回の花巻空港拡張工事にともない、滑走路に近い進入灯7基の脆弱化改良工事が行われました。この工事は、太い鋼管柱の構造を細いアルミパイプにするものです。

補強ではなく脆弱化と聞くと驚かれる方も多いかと思いますが、これは空港に進入してくる航空機が、万が一着陸に失敗して進入灯に突っ込んだ場合、進入灯を脆弱な構造にすることによって航空機が受けるダメージを小さくしようとするもので、国際民間航空機関(ICAO)からの勧告を受けての措置です。



旧柱が撤去され新しい灯火が運用されています。

問い合わせ 花巻空港事務所 TEL0198-26-2016